

コンポストってなあに?

たいひ たいひ コンポストとは「堆肥」や「堆肥をつくる容器」のこと

げすいおでい です。家庭からでる生ごみや落ち葉、下水汚泥など

びせいぶつ はたら かつよう はっこう ぶんかい ゆうきぶつ の有機物を、微生物の働きを活用して発酵・分解さ

でんしょう にほん たいせつ せ、昔から伝承されてきた日本の大切な知恵のひと

つです。



コンポストのしくみ



コンポストのいところ!

【自分や家庭にとって】

- ●生ごみを捨てる手間がなくなる

- 生ごみを捨てるときに使うビニール袋が必要なくなる
- 栄養豊富な堆肥を自作することができる

かていさえいえん

- ●できた堆肥は家庭菜園や花の栽培に活用できる たいひ
- 地肥でできた野菜や果物はおいしく、安心して食べられる
- しごみが減るので、ゴミ袋代を節約できる

環境などに関心を持つきっかけになるなど、エコ活動とし

て気軽に参加できる



み

コンポストのいところ!

【地域や地球にとって】

へ じちたい しょうきゃくしょぶん

てま ねんりょう

●ごみが減り、自治体が焼却処分するための手間や燃料、

ひよう へ
費用が減る

しょうきゃく へ しょり

にさんかたんそ

はいしゅつ

●ごみの焼却が減るため、処理につかう二酸化炭素の排出

量が削減されてる

たいひ がっこう のうか

ちいき かんげん

●堆肥を学校や農家など地域に還元することができる



堆肥ってなあに?

コンポストに取り組むと、生ごみが堆肥に変わります。で

は、堆肥とはどんなものか知っていますか。

まちば ゃそう もるい つ くさ じきゅうひりょう 「わら、落葉、野草、藻類などを積んで腐らせた自給肥料。

肥料としての効果のほか土壌の肥沃度を保ち、土壌の物

りかがくてき びせいぶつがくてき せいしつ かいぜん どじょうかいりょうざい 理化学的、微生物学的な性質を改善する土壌改良剤とし

かんたん い たいひ ゆうきぶつ びせいぶつ ぶんかい 簡単に言うと、堆肥とは有機物を微生物に分解させて、そ

が栄養を植物が吸収しやすい状態にしたものです。

コンポストにはどんな種類があるの?

【設置型コンポスト】

庭の土を掘り、コンポスターの下の部分を埋めます。上にはふたがついています。生ゴミのほか、庭の落ち葉や雑草なども入れられます。いっぱいになったら2~3か月熟成させます。

【回転式コンポスト】

生ゴミや落ち葉などを入れて、容器ごと回転させることで堆肥化に必要な酸素を効率よく供給します。丁寧に扱わないと取っ手などが壊れることもあるので注意が必要です。

【密閉型コンポスト】

密閉した容器に生ごみとぼかし(米ぬかや発酵促進剤など)を入れて、ゴミを発酵させます。生ゴミは分解されないので、土に移して1か月ほど分解させる必要があります。嫌気性のタイプであるため強い発酵臭を悪臭と感じる人も多いため、マンションでは注意です。



コンポストにはどんな種類があるの?

【ダンボールコンポスト】

ダンボールに資材を入れ、生ごみを投入してよくかき混ぜるだけ。最後に3週 間ほど熟成させます。安価で作り方が簡単なコンポスターです。ダンボールは 庭やベランダに置き、2~6か月ごとの交換が必要です。

【 LFCコンポスト(バッグ型)】

専用バッグに基材を入れ、家庭の生ごみを投入してよくかき混ぜるだけ。虫が 入りにくいファスナー仕様。コンパクトで都会のベランダでも利用可能。

【電動生ゴミ処理機】

電気を使い、温風で生ゴミを乾燥させて堆肥化、や炭化させるタイプ、資材を 入れ自動で回すタイプなどがあります。室内に設置できて手軽ですが、本体が 高価で電気代がかかり、音がするという問題もあります。

【ミミズコンポスト】

ミミズと資材を入れた容器に生ごみを投入すると、ミミズが生ごみを食べて 分解してくれます。ミミズは好き嫌いがあるので柑橘系など入れられない生 ごみがあります。



コンポスト育成中

松江市では、現在使わなくなった古いタンスを再利用(リ ユース)して、市内4か所で試験的にコンポストを育てて

います。

- ・松江市環境センター III
- ・のぎ幼保園
- •朝酌公民館
- ·個人宅

環境センターに ゴーヤによるグ リーンのカーテン を作るときの堆肥 として利用します。





のぎ幼保園



